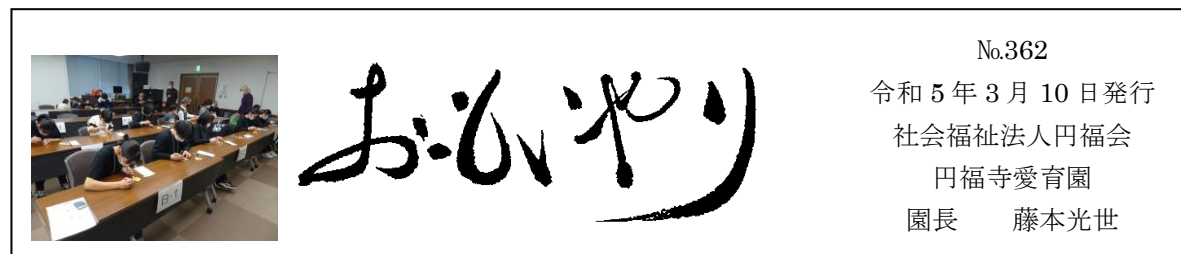


<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

園内箸技大会、国際箸技大会、2度の箸技大会がありました。



## 国際箸学会 第7回箸技大会

園長 藤本光世

川口市リリアで開催された第7回箸技大会に、子どもたち全員で参加してきました。

子どもの未来支援事業の支援もお願いしようと、午前中はコミーQ iセンターで、さまざまな特殊ミラーを見せていただき、科学がいっぱい詰まったおもちゃを体験させていただき、その上に万華鏡…世界に一つしかない1面がFFミラーものなど…を作らせてもらいました。子どもたちは大満足でした。

リリアの箸技大会の司会者は、文化放送「おはよう寺ちゃん」で有名な寺島尚正アナウンサーです。上手でした。その寺島尚正アナウンサーが「今日の絵日記」に箸技大会のことを掲載してくださいました。ご許可をいただきここに再掲いたします。

### 寺島尚正 今日の絵日記

2023年2月20日 箸恐るべし

2月19日雨水の日曜、川口リリアの会議室で一般社団法人・国際箸学会による「第7回 箸技大会」が行われた。

設立趣旨は「箸文化を学び、新しい箸文化を創り、箸を通じて世界中の人と共に喜ぶ」である。話を聞いて意外だったのは、世界の30%の人が箸を使うという。

国際箸学会は、箸を通じて世界共通の話題作りをし、箸を通じて、出会いの喜び、創造の喜び、達成の喜びを味わうというものだ。

箸技大会は

1部 箸リン1分ゲーム（個人戦）

5つの箸の技（はさむ・つまむ・ひらく・てんぷら・でんぐり）を使って5つのリングを何個移動できるかを競うゲーム。

2部 箸ピー1分ゲーム（個人戦）

箸を使って、ピーナッツ（レプリカ）を何個移動できるかを競うゲーム。

3部 箸ピー駅伝ゲーム（1チーム5名の団体戦）

（令和5年3月10日発行 月刊「円福」510号付録）

50のピーナッツを移し終わったら、隣のメンバーにピーナッツと箸を渡していくもの。

4部 積みピー3分ゲーム（個人戦）で行われた。

ピーナッツを積み上げる競技である。

コロナの影響で85人に絞られた大会だったが、下は小1から上は90歳の高齢者までが、認定の箸とリング、ピーナッツで競い合った。

活気のある雰囲気と同時に緊張感が会場に漂っていた。

長野の養護施設「愛育園」が箸技に力を入れていて、選手の皆は「異次元」のスピードで各種目上位を総なめにした。

選手に話を聞くと「大会の1ヶ月前から、毎日30分の練習をします。集中してやるのがいいようです」と生き生きした目で話してくれた。

今回優勝した女子生徒は、箸ピー、左右1分間ずつのベスト合計が「339」だった。

因みに私のベストスコアは「120」軽いめまいがした。

「努力は裏切らない」とよく言うけれど、正に努力の賜だろう。

私のスコアは圧倒的に低いけど、それでも緊張感と達成感はいくせになる。

ところで今回箸技に知り合えて、私の体で喜んでいてる部位があった。

それは、「左手」だ。

私は右利き。

これまで左手は、右手の補助か補欠のような存在だった。

右手だけでは足りない場合だけ出動要請が掛かる程度だ。

それが、この箸技では（箸リン・箸ピー）立派にレギュラーとして競技に参加出来るのである。

当初左手が全く言うことを聞かず、「左手はこんなにお荷物だったのか」とショックを受けた。

しかし、練習を始めると少しずつピーナッツを挟めるようになり、今では右手に追いつこうと頑張り始めている。

来年の大会では「150」を目標に努力をしていこう。

改めて「箸」は奥が深いと感じた。



第1回の箸技大会（当時は箸リンピックと呼んでいました）は文化放送のアナウンサーが取材し、放送してくださいました。その様子は今も愛育園のホームページで聴くことができます。楽しいですよ。（検索 円福寺愛育園⇒子どもの近況⇒動画一覧 この一番下）

<http://www.enpukuji-aiikuen.com/mp3/hashilympic.mp3>

このように、愛育園の子どもたちが一流の方とふれあい、会場を一杯にした一般の皆さまの前

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

で、誇らしい姿をお見せできるのはとっても嬉しいです。これも、小宮山栄箸学会会長さまのおかげと心より感謝しています。

愛育園の子どもたちに幸いあれ。

## 2つの箸技大会



あおぞらホーム長 冨沢正樹

今年は、「箸ピー・箸リングゲーム」の生みの親である国際箸学会様の主催する「第7回 箸技大会」がコロナの影響から3年ぶりに復活開催する運びとなりました。

今まで、園内の箸技大会が選考会を兼ねて、10名前後の選ばれしメンバーが川口市で開かれる「箸技大会(世界大会)」に行けるという流れでやってきましたので、今年はその形に戻すことができたので、子ども達は俄然やる気になって、練習し本番でいい記録が出るように頑張っていました。みんな、行きたくて仕方ありません。

しかし、記録が良いだけでは選抜メンバーにはなれません。練習や普段の生活の頑張りが選考基準です。面白い事に一生懸命練習して、落ち着いた生活を心がけている子は徐々に最高記録を伸ばして行って、本番でも力を発揮できます。さて、今年はどうなるか？と思っていた所、先月号にも書かせていただきましたが、とても頑張っていて、とてもじゃないけど選べない状態でした。みんな、行きたくて仕方ありません。

すると、園長先生が「よし、もうみんな連れて行っちゃおう」と言って下さり、更に箸学会の皆様もこれを承知してくださいました。本当に有難いです。

愛育園の箸技大会は僅差の争いで箸ピー優勝が記録333個で高1のSさんが優勝しました。男の子たちは練習の最高記録と比べるとやや力を出し切れず優勝を逃してしまいましたが2位から6位までは独占できました。箸リンの方は、予選トップ通過した中2にR君が本線で緊張に耐えれずまさかの失速。逆に箸ピーの方で優勝候補の最有力だった中3のY君がまさかの優勝という意外過ぎる結末で大いに盛り上がりました。ですが、大会が終わっても、子ども達の緊張感は解けません。そうです、選抜メンバーの発表があるからです。

大会後のお茶会で、園長先生が発表します。「今日はみんな本当によく頑張りました。それでは来週の箸技大会に出場するメンバーを発表します。今年は、、、、、、」(ドキドキ)(手を合わせ天に祈りを捧げている子もチラホラ)「全員つれていきまーす！」

嬉しいのとびっくりなのとですごい歓声が起きました。すごく雰囲気良かったです。

箸技大会当日、みんなウキウキしながら大型バスで埼玉県川口市に向いました。大会前にコミーQiセンターで見学や万華鏡作りのワークショップをして頂きました。置いてあるものはまさに

(令和5年3月10日発行 月刊「円福」510号付録)

発明品といった感じで特殊ミラーから始まってミニヘリコプターや火おこし器や他にも私にはなんだかよくわからないものもあって、子ども達は工作が大好きなのでとても喜んでいました。その後、会場を移してよいよ本番です。愛育園以外の方も大勢参加されていました。「第7回 箸技大会」でしたが、愛育園はずっとディフェンディングチャンピオンの立場をキープさせて頂いてきており、今年も表彰を独占させていただきました。ただ、内部の事をいうと優勝は箸ピーも箸リンも団体戦も全部まごころ女子に持っていかれてしまいました。ちょっと男の子たちは本番に弱い事がわかりました。

国際箸学会の皆様はとても貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。子ども達が思う存分力を発揮できる心遣いを随所に感じ、本当に良い出会いに恵まれたと思っています。子ども達も今回の大会参加を通じて様々な出会いのかけらを得る事ができ新たな発見があった事と思います。また来年も腕を磨いて良い大会を作り上げていきたいと思っています。



## 箸技大会(園内)を終えて



まごころホーム 宮澤穂香

今年度の園内箸技大会は、2月に開催されることになり、子どもたちは1月から約一か月間毎日練習に励んでいました。日によって今日は調子が良く記録を更新できる日もあれば、上手いかない日もあります。それでもみんな、本番でいい記録を出せるように一生懸命練習しました。貼りだしてある記録表にはみんなの記録が書いてあるので、それを見て、

もっと頑張ろうという気持ちが湧いてきたと思います。

本番は、とてもいい緊張感の中でできたと思います。団体戦では、あおぞら、まごころホームどちらも協力し、応援も一生懸命、本気でやりました。自分自身のプレッシャーに勝つこと、仲間と協力することの大事さを両方味わえる箸技大会は、最高のものだと思います。今年、まごころホームは団体戦で負けてしまい、とても悔しかったです。なので来年は絶対勝てるよう、子どもたちと一丸となって挑みたいと思います。

## 箸技大会(園内)を終えて

あおぞらホーム 藤原京平

愛育園では2月12日に、今年で13回目となる園内での箸技大会を行いました。

子どもたちは1月14日から練習を始め、ほぼ毎日練習に励みました。練習の中では、箸ピー





で300個を超えるような記録をだす子もおり、今年が初参加だった私は、こんなにもレベルが高いのかと驚かされました。

本番当日、子どもたちからは「ドキドキする」や「練習の時みたいにはいかなそう」といった声もあり、とても緊張した様子でした。競技が始まってからは、緊張感のある会場で競技が進む中、嬉しそ

うな顔をする子、悔しそうな顔をする子というように、子どもたちの色々な表情を見ることが出来ました。

こういった子どもたちの色々な表情が見られたのは、それだけ子どもたちが箸技大会に熱中し、練習を頑張ってきたからだと思います。それぞれ結果のよし悪しはあると思いますが、それ以上に子どもたちにとって有意義な行事になったと思います。

### 箸技大会(国際箸学会)を終えて

あおぞらホーム 山田忍

2月の行事は園内の箸技大会と外部での箸技大会とが二週続けてありました。二週目の箸技全国大会は箸技大会の聖地である埼玉県川口市まで愛育園全員で参加しに行ってきました。今までは毎年選抜メンバーのみの参加でしたが今年は全員で参加することが出来たのは日ごろからの子供たちの頑張りの積み重ねだと思っています、そんな中現地では一般のお客さんみいる中でも皆力を発揮できたのではないかと思います、競技だけでなくマナーや行動一つ一つについてもとてもまとまっていた良かったな、と感じました。競技になると始めは緊張していた様子も見られましたが後半では会場がだんだん愛育園の雰囲気になってきて盛り上がっていったのと、園の子達の箸使いの速さに周りの方々がびっくりされていたのを横目に内心「うちの子達はすごいな」と誇り高い気持ちになれたことが職員としても気持ちよかったです。今年度はことごとく行事を大成功に収めてきた子達ですが、今回のように一般の方もいらっしゃるような外部の行事に参加しても大成功で帰ってこれる子達に改めて皆にはすごい力があるな。と感じた行事でした。

### 箸技大会(国際箸学会)を終えて

まごころホーム 遠藤あゆな

埼玉県川口市で行われた箸技大会は、園内での箸ピー大会とはまた違った雰囲気の中行われました。

いざ本番が始まり、真剣に箸でピーナッツを運ぶ子どもたちを見た一般の参加者の方々からは感嘆の声が上がっていました。毎日欠かさず練習をしてきた努力が結果に表れ、見る人を驚かす程の実力になっていたのです。そんな子どもの姿は誇らしく、素敵でした。その中でも、緊張の



団体戦を終えた後「楽しかった」と笑った子どもの顔がとても印象的でした。あの緊張感の中で実力を発揮し、楽しめるのは、毎日努力した証であると思います。

今大会の出場者は小1から90歳を超えた方もおり、まさしく年齢問わず、箸とピーナッツさえあれば誰でも行うことができ、人と人とを結んでくれる競技であると実感した一日でした。

### 箸技大会を終えて 児童作文 あおぞら

『箸技大会に参加して』

2月19日国際箸学会の第7回箸技大会に参加しました。箸リンと箸ピー、箸ピー駅伝に参加しました。僕は今回を含めて2回行きました。1回目の時は愛育園で初めて選出されて、第6回箸技大会に行きました。愛育園とは感じが違って、緊張しました。でも今回は、2回目ということもあって、少し緊張はしたけど、リラックスして取り組むことができました。愛育園の練習では、箸リンの最高が164個で、箸ピーが347個です。愛育園の箸技大会は、昨年箸リングキング決定戦で8位で出場し、8位だったけど、今回の箸技大会では、箸リンの決勝には出れなかったけど、箸ピーキング決定戦に8位で出場し、結果は3位でした。僕はとても嬉しかったです。その調子で国際箸学会もチャンピオン決定戦に出たいと思います。そしたら、箸リンも箸ピーも出場することができました。5位での出場でした。でも国際箸学会の箸技大会でチャンピオン決定戦に出たのは初めてだったので、緊張して自分の力が出ず、いい結果でなくて悔しかったです。箸ピー駅伝では5人でチームを組み、4位でチャンピオン決定戦に出ました。そして、結果はもう一つのチームと同率で3位でした。とても嬉しかったです。園では、まごころチームとあおぞらチームで団体戦で勝負して、第13回箸技大会でみごと2対1で勝つことができました。これは練習の成果だなと思いました。積みピーでは4個積むことができ、とても嬉しかったです。箸技大会に参加させてくれてありがとうございました。

(小6・S君)

『箸技大会に参加しての感想』

2月19日に埼玉県の川口市で行われた箸技大会に参加しました。毎年選ばれた人だけでしたが、今年は愛育園全員が参加しました。また、今回から箸リンで使っていた箸でやると聞いたので、一週間練習しました。本番会場に入ったら大勢の人がいてびっくりすると共に緊張しました。着いてすぐに、会場に入ったらマジシャンがマジックをしていました。初めて見たのですごく良かったです。まず箸リンから行いました。緊張のせい、手が言う事を聞いてくれず、結果があまり伸びませんでした。でも上位6人によるキング決定戦に進むことができました。キング決定戦では

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

予選より緊張しましたが、予選よりも記録が伸びたので良かったです。次に箸ピーをやりました。練習したときよりもピースが小さくとてもやりづらかったです。でも箸リンに続き上位6人の中に入れました。キング決定戦では、右手で落としてしまいました。最後まで諦めず戦うことができました。左手では、箱が上下にズレたりして良い結果が出せませんでした。でも、最後まで楽しくできたので良かったです。次に箸ピー駅伝をやりました。予選は1位で通過しました。決勝戦では自分がピースを落としてしまい負けてしまいました。本当に悔しかったです。次に新種目の積みピーをやりました。自分の記録は4個でした。最後に表彰がありました。自分は箸リン・箸ピー共に3位でした。どちらかで優勝したかったので悔しかったです。でも楽しくできたので良かったです。

(中3・Y君)

### 箸技大会を終えて 児童作文 まごころ

『はしわざたいかいのみなさんへ』

百八十はこえられなかったけどいらいらなくてさいごまでがんばれてよかったです。あと10まえであせったので百八十をこえられるのかとおもったらひだりてをこんどやって百八十じゃなくて百六十四でさがってくやしかったです。でもがんばれたのでおもいでになったなっておもいました。

(小1・A君)

『箸技大会にさんかして』

箸技大会にはじめてさんかしてうれしかったです。個人戦の箸リンは、左手のつまみ技がむずかしかったです。箸ピーは、左手で箸で豆をつかむのがむずかしかったです。団体戦は、まごころが勝てたのでうれしかったです。積みピーは、はじめてやったのでむずかしかったです。積みピーは3こできたのでうれしかったです。

また来年も大会があったら、200こ目指してがんばりたいです。ありがとうございました。

(小3・Y君)

『第7回箸技大会』

2月19日に埼玉県川口市で第7回箸技大会が行われました。私は2回目の出場でしたがとても緊張しました。川口リリアという会場で大会をやりましたが、とても広く周りの方たちもたくさんいたので緊張が増しました。種目も1部から4部まであり、どの種目も頑張りました。

1部は、箸リン1分ゲームをやりました。緊張していたせいかあまりいい記録が出ず大変でしたが1分間頑張りました。2部は、箸ピー1分ゲームをやりました。いい結果を出せたかわからないけど一生懸命になって豆を運ぶことが出来ました。3部は、箸ピー駅伝ゲーム、1チーム5名の団体戦をやりました。練習ではたくさんやるにつれ記録があまり良くなかったのですが、ど

(令和5年3月10日発行 月刊「円福」510号付録)

うしたら早くなるのか考えました。それは、みんなで声をかけあうことでした。声をかけあうことを意識してやってみたらみごと私のチームが「優勝」することが出来ました。練習した成果をすべて出し切ることが出来て本当に嬉しかったです。一生の思い出です。最後に4部の積みピー3分ゲームです。これは、練習をあまりしていなかったのが不安だったのですが3分間の中で最高4個でした。本番は2個しかのせられませんでした。1つでも記録を残すことが出来たので良かったです。

来年も、箸技大会に出場できるように日々の生活を大切に過ごせるように頑張りたいと思います。

(中3・Rさん)

『箸技大会に参加して』

今回、埼玉県川口市で行われた箸技大会に参加して、嬉しかったこと、悔しかったこと、頑張ったことは三つあります。

一つ目は、「箸リン」についてです。予選では手が震えてしまいあまり良い結果ではなかったけれど決勝戦に出る人の名前が呼ばれるとき二位で呼ばれたのでびっくりしました。予選のときよりは手が震えることはなかったので予選よりは良い結果を出すことが出来ました。

二つ目は、「箸ピー」です。予選では三百個を超えることが出来なくて悔しかったけれど、予選一位で決勝に進むことが出来ました。予選一位で決勝に進めると分かったとき、「ここまできたら絶対、優勝したい。」という気持ちになりました。決勝では、予選では出せなかった三百個を超えることが出来たので良かったです。

三つめは、「箸ピー駅伝」です。私は「まごころAチーム」として出場しました。前日にたくさん練習をし、何度も順番を変えたり、作戦を立てたりしました。愛育園の箸技大会では、「あおぞら」に負けてしまい、悔しかったので、『今回は絶対に勝ちたい。』という気持ちでした。決勝は四チーム全部、愛育園のチームでした。私たちのチームは予選二位でした。決勝は予選のときより一人ひとりが声を掛け合って応援してくれていたのが、全員が練習通りにやる事が出来ました。

最後に、結果は、箸リンで二位、箸ピーで一位、駅伝で一位を取ることが出来てとても嬉しかったです。久しぶりに箸技大会に参加して、初めて優勝することが出来て良かったです。一か月間の練習を頑張った良かったなと思える大会になりました。来年も参加できる機会があれば参加したいです。

(高1・Sさん)





## コミー・Qi センター見学 児童作文 あおぞら

### 『Qi センターの皆さんへ』

僕は Qi センターに行って沢山の鏡を見たり、色々なもので遊んだりしました。鏡の見学では、目の錯覚で自分の手と握手できる鏡や、どんなに叩いても割れない鏡などとても興味深い鏡をみることができました。ありがとうございました。また、火を起こせるものや風を送ると動くものなど、たくさんのもので遊ばせて頂き、ありがとうございました。また、万華鏡作りもすごく楽しかったです。これからも体にはお気をつけてお過ごしください。



(中学2年・Y君)

### 『Qi センターさんへ』

今回 Qi センターへ訪問させていただきありがとうございます。僕は3年程前に箸ピー大会終了後に少しだけ見学させていただいたのですが、今回は長い時間の見学なのでとても面白く興味深い物を見学させていただきました。特に僕が面白いと感じたものは自分が握手ができるという鏡です。その他にも様々な面白い鏡がありとても楽しく見学することができました。また、小宮山さんが大切にしている「なぜ？」と考えることは、僕もその話を聞いた時大切だと思いました。僕は来年大学受験を控えています、勉強面でも「なぜ？」と常に考えながら取り組んでいきたいと思いました。今回はとても貴重な体験や見学をさせていただき本当にありがとうございました。

(高2・Hくん)

## コミー・Qi センター見学 児童作文 まごころ

### 『Qi センターさんへ』

たくさんかがみがあって、これなんのためにつかうのっておもったらすごいかがみでびっくりしました。あとぎたーとかへりこぶたーみたいなのであそんでたのしかったです。知らないおもちゃがいっぱいあってびっくりしました。あとこれどうやってつくったのとおもいました。あとつみピーせつとをくださりありがとうございました。



(小1・A君)

### 『Qi センター見学』

先日、Qi センターの見学に行きました。たくさん鏡があり、とてもすごかったです。特に印象的だったのは、割れない鏡です。どれだけ叩いても全くひびも入らなくて本当におどろきまし

た。自衛隊に行って銃弾を当てても割れなかったという話を聞いて、どのようにしたらそんなすごい鏡ができるのか疑問に思いました。他にも、忘れ物などがすぐにわかる飛行機などで使う鏡や、タナオスなどの道具も本当にすごかったです。万華鏡作りもとても楽しかったです。少し難しい作業もありましたが、きれいな万華鏡を作ることができてすごくうれしかったです。ずっと大切に使っていきたいと思います。

(中3・Uさん)

### 『Qi センター見学』

見学やワークショップを通して私が感じたこと、学んだことは二つあります。一つ目は、「鏡」は様々な場所にあるけれど、鏡の種類によって使い方や使う場所や場面が違うことを知りました。また、飛行機の座席の上の荷物を入れる場所にも鏡が使われていて、危険物や忘れ物の確認が素早く行われていると知ったとき、とても驚きました。飛行機に乗る機会があれば見てみたいです。二つ目は、ワークショップで作った「万華鏡」についてです。今までに「万華鏡」に触れる機会や作ることがなかったので、思った以上に短時間で作ることが出来て、びっくりしました。万華鏡にも鏡が何枚が使われていることも知ることができて良かったです。



(高1・Sさん)

## あおぞらホームだより

あおぞらホーム 金井雄大

2月はたくさん行事がありました。1月から練習していた箸ピー・箸技の大会が2回もありました。1回目は園で行われた大会で、毎年団体戦ではあおぞらホームが負けていましたが、今年のはあおぞらホームが勝つことが出来ました。私はなかなか練習ができておらず、どちらかという足を引き張ってしまったのですが、それでも子どもたちが一生懸命にピーナッツを箸で運ぶ姿は凄かったです。

2回目は埼玉県川口市までバスで行き、国際箸学会の方たちの公式のルールで行いました。ここでも箸ピー・箸技さらには積みピーというものまで行いました。積みピーでは練習中に5個つめた子がいましたが、本番ではそれが出来ず、優勝した方は5個積んだとのことで悔しかったと言っていました。

2月の最終週にはスキー行事があり、みんなかなり楽しんでいました。初めてスキーやスノーボードをやる子もおり、段々と上手くなっていく姿を見て、子どもは覚えるのが早いなと思いました。いよいよ三月、後期の受験を控えていたり、卒業卒園があります。年度最後の月を良い形で

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

終わることが出来たらと思います。

#### まごころホームだより

まごころホーム 倉石朱莉

気温が安定しない中ではありますが、子どもたちは相変わらず元気に過ごしております。1月中旬から箸技大会の練習が始まり、無事に2月12日には園内にて箸技大会が開催することができました。子どもたちは練習の成果を思う存分発揮し、大会が終わったころには皆、やり切ったすがすがしい顔を見せてくれました。

また、19日に埼玉県川口市で開催された、国際箸学会主催の箸リンピックの競技大会にも全員で参加し、優勝した子もいます。これも、1月中旬からの練習の成果であると思います。今月経験した二つの大会は子どもたちだけではなく、職員にとっても大変貴重な経験となりました。

来月は卒園式があるので、笑顔で卒園生を送れるよう、体調管理を徹底していきたいと思っております。

#### 調理室だより

調理員 加藤のぶ子

昨日より寒いと感じながらも、立春、節分が過ぎ春の訪れが近づいて来ます。とびっきりの春を待ちたいと思います。

3日： 節分メニュー

恵方巻、豚汁、お豆のサラダ

14日：バレンタイン手作りおやつ

ステックブラウニー

市販されていない材料はネットで購入し、手作りをしてきれいに出来ました。

21日：N君誕生日メニュー

ガーリックライス、ステーキ、チョレギサラダ、チーズケーキ

N君は園で最後の誕生日となり、調理でも温かいものを出したいと頑張りました。

N君は将来の抱負を語り、担当の先生からは成長の写真や心に沁みる手紙を頂き、少しでもこれからの生活の力になってほしいと願う誕生日会でした。

#### 第13回箸技大会

国際箸学会会長 小宮山栄様

日曜日は「愛育園の第13回箸技大会」へ小宮山哲さん、横瀬さんと町田さんと私（相談役）で行きました。

幼児から高校三年生までの箸ピーと箸リンだけの静かな本気の箸技です。箸ピーは「さくらち

(令和5年3月10日発行 月刊「円福」510号付録)

ゃん」が333個のすごい記録が出ました。観客はコロナの問題もありコミーの4人だけでした。

「さくらちゃん」は7年前NHK長野で放映した「“箸ピー”にかけた冬」でひなちゃんに負けて泣いた子でかなり成長していました。

個人戦のあとの、ほぼ全員参加の3チームの駅伝ゲームは1チーム約20人が3チームで競い、大声の応援もありました。

競技前は「箸のうた」を、競技後は愛育園の園歌である「オンリーワンのうた」を全員が歌いました。すばらしい。

[園の概要 | 児童養護施設 円福寺愛育園 \(enpukuji-aiikuen.com\)](http://enpukuji-aiikuen.com/)

全員が本気になった顔をしていました。

愛育園園長の藤本さんは長野県の歴史に残る高校教育をしてきた人で、「み仏に導かれて 心を育てて五十年 実践の軌跡」の本は信濃教育会が去年発行しました。また、藤本さんとお父さんの幸邦さんの物語「おっちゃん二代記」をコミーで発行できてよかったです。ぜひ読んでいただきたいです。

愛育園の「日課」と「行事」は、箸技大会まで1か月は徹底して毎日30分、走って練習場へ行き、夢中になって練習する感覚を作り上げ、最後に勝つためにはどうゆうことをして、勝った子を全員で褒めたたえるという文化を教えています。

最後に幼児から高校生まで一人一人全員が今日の箸技大会はどうだったか、自分の想いを話しました。改めて集団生活でのスゴイ教育をしているなど。雑巾がけの時間、仏様に感謝する時間、食事の時間、すごいです。19日の国際箸学会の箸技大会はこの子たちも全員参加の予定です。